仙台市立太白小学校６年生・総合学習　　2008.2.26.
「ぼく・私のドリームマップ～地域で活動する人から学ぼう～」

話すメモ書：「将来の夢（仕事）に向かって～福祉職の立場から～」

阿部幸泰

太白小学校　校章
開校（1978.）当時、私は校章募集を知って西多賀病院入院中の青年に紹介したところ、青年がデザイン応募し、採用された。

難病、障害のある子ども、高齢者を支える仕事（職業）
医療職（医師、看護師、保健師、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士、等々）
教育職（教師、幼稚園の先生、等々）
福祉職（保育士、指導員、生活支援員、介護福祉士、社会福祉士、ヘルパー、等々）
行政職（区役所の各担当課、保健福祉事務所、等々）

国際（車いす）シンボルマーク（障害者が利用できる建築物、施設）
仙台三越支点が日本で一番最初（1971･11.）に車いすマークが貼られた。
障害児・者が街に出てきにくいのは、当人の障害の問題だけではなく、自分達（社会）の責任でもあることに気づいた西多賀ワークキャンパスでボランティアで出入りしていた大学生たちの活動（生活圏拡張運動）のお陰。
（　→　バリアフリー法につながっている。
→　本当は、一人一人の心のバイアフリーがまだまだ望ましい。
例：障害者用駐車場の問題～空いているからと駐める車がある～）

仕事（職業）
生きるとは、自分のためだけでなく人のために使う時間のこと。
←　（日野原重明医師：１００才近くになっても、患者さんを診ている）
→　人のためになり、人に喜ばれる（認めてもらう）と嬉しいもの。
自分のやりたいこと（仕事）が、人のためになるなら、最も嬉しいこと。

職業選択とは、「人のためにどう時間を使うかのための方法（手段）を、
迷いながらも探して見つけること。」とも云える。
「今日は過去の積み重ね。未来（夢）は今日の積み重ね。」
→　自分の夢を追い続けるために、
今を大事に過ごすことに心懸けましょう。

生きている（生きていく）喜び
知らないことを知る喜び　←　勉強すること、人からアドバイスをもらうこと、等々。
人とかかわり合う喜び　←　友だち、家族等と仲良くすること、等々。

「悩みの後に進歩あり。」（私が小学６年の時に、担任の先生から教えられた言葉）
みなさんも中学、高校、大学（専門学校）、そして仕事に就くまでに、色んなことで戸惑い、悩むかも知れませんが、その後に進歩（成長）するであろう自分を信じる勇気をもって歩んでください。